

IYS通信

2025年2月発行 2024年冬号

インターユース堺事務局

堺市堺区南瓦町3番1号高層館6階

堺市ダイバーシティ推進部人権推進課内

TEL 072-221-9280

FAX 072-228-8070



向春の候、会員および関係者の皆さまには、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。
また、日頃は、当会の事業に多大なる御理解・御支援を賜り、心より御礼を申し上げます。

2024年度は団員活動再開の節目となり、6名の青年を迎えて交流活動・人権啓発活動・社会貢献活動に取り組んでまいりました。海外スタディツアーにかかわる、新たな国際交流では、国内でのフィールドワークや人権に関する研修を通じて、団員どうしや外国にルーツのある方とつながり、学ぶことで、実際に現地を見ることや当事者の声を聞くことの重要性に気がつきました。スタディツアーの姿は変わりましたが、IYSが大切にしている精神は、しっかりと受け継がれています。



また、昨年12月に行われたヤングサンタ事業では、IYS団員以外にも高校生や大学生、また社会人の方まで16名が訪問ボランティアスタッフとして集まっていただき、堺市内の12家庭の子どもたちと楽しいひとときを過ごすことができました。訪問家庭についても、20家庭のご応募をいただき、盛況のうちに終わることができました。青年の皆さんには、今年度の経験をぜひ、次年度につなげてほしいです。

次年度は、国内交流を拡大し、宿泊を伴う国内スタディツアーを役員会等で検討しています。会員の皆様には、次年度のIYS総会で学びの多い、すてきな活動計画をお示しできるよう、事務局を中心に検討を進めてまいります。私たちインターユース堺は、今後も【参加】・【開発】・【平和】・【人権】をテーマに、明るい未来の建設に貢献できる、人権意識と国際感覚を身につけた青年の育成に取り組んでまいりますので、皆さまの更なる御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2024年度の活動報告 その2

IYS通信秋号で特集したIYSの活動報告の続きをお伝えします。「世界の人権の流れ」、「国際関係団体について」の研修後の団員活動について報告します。

- ① 8月17日（土）には、堺市立人権ふれあいセンター（あいてらす堺）で「同和問題について」研修を深めました。差別について当事者のお話を伺う貴重な機会となりました。また、団員たちは舩松人権歴史館見学や地域のフィールドワークを通じ、人とつながり、学ぶことにも注目できていました。



【第16期団員の感想から】

・私は、インターネットで情報を伝えることによって差別がなくなっているのではないかという意見を見たことがあります。確かに知ることがなければ、差別は起こることがないのではないかと共感しました。ですが、今回の研修を通して、無知だから起こらない差別と理解した上での起こらない差別は全くもって違うのだと学ぶことができました。

- ② 8月25日（日）は、堺市立平和と人権資料館見学と、大阪YMCA日本語学校の留学生との交流会を開催しました。まず、平和と人権資料館では、堺大空襲の現状を中心に説明をいただき、館内見学を行いました。今年は戦後80年になります。若い世代が平和について真剣に考えています。

【第16期団員の感想から】

・特に平和ゾーンが印象的でした。なぜなら、当時のものがそのまま保存され資料としてあったからです。父親が家族に向けて書いた最後の手紙などがあり非常に胸が苦しくなりました。そして、韓国と日本の「戦争」というキーワードでの教育の違いを知ることができました。日本は「戦争自体が悪い」という教育である一方、韓国では「日本にこんな悪いことをされた」という教育であることに衝撃を受けました。



③ 午後からは研修室で留学生となかまづくりのゲームや日本文化の紹介、各国の遊びの交流が行われました。日本にもあるゲームやその国独自の遊びなど、楽しみながら異文化交流ができていました。相手の立場を尊重することの大切さにも気がついていました。



【第16期団員の感想から】

・他の文化を知ること、自分にとっての当たり前が、他者にとっての当たり前ではなく、幅広い視野を養う必要性を実感させられました。すごく遊びの中で、「日本に来て驚いたこと」をうかがいました。「日本は道が綺麗である。」私たちにとって道路にゴミが落ちていたら掃除されて、清潔が守られていることが当たり前であるが、他国では、ゴミ問題・大気汚染など清潔に暮らすことが担保されない現状があることが分かりました。

④ 9月15日(日)には、少林寺小学校で外国にルーツのある子どもたちとの交流イベントをIYS団員と留学生が協働して行いました。当日を迎えるために2回にわたり打合せと準備を重ね、当日に臨みました。前半にじゃんけん列車やフルーツバスケット、ジェスチャーゲームなどを行い、後半は、各ブースに分かれて、留学生の出身国の文化を体験するスタンプラリーを行いました。当日は各国の文化を体験するだけでなく、準備の段階で自然とコミュニケーションが生まれ、交流できていました。

【第16期団員の感想から】

・子どもたちの笑顔が何よりも嬉しかったです。最初は話しかけても緊張して目を合わせてくれなかったのですが、ゲームを進めるに連れて、自然と目を見て話してくれるようになりました。1つ目のゲームのじゃんけん列車では、身体を動かすことがメインのゲームでした。そのため、子どもたちもあまり緊張せずゲームに参加できたと思います。お互いを知ることができるゲームで、子どもも大人も一緒に楽しんでくれました。受け入れ、理解するためには、両方が歩み寄っていかねばいけません。



⑤ 10月20日(日)は、堺まつりで山之口商店街なんばん市にIYSブースを4年ぶりに出展しました。協力団体のクボタ堺ユニオン様のご協力のもと、ユニオンの青年部の皆さんとバザーも開催しました。大切なIYSの活動紹介やヤングサンタ訪問家庭募集のチラシを団員が分かれて配りました。青年育成が大きな目的であるIYSの活気ある活動が戻ってきたようです。



【第16期団員の感想から】

・堺まつりに初めて行き、規模がとても大きくてびっくりしました。ヤングサンタのチラシ配りをしました。チラシ配り自体人生初めてで、なかなか取ってくれなくて苦戦しました。バザーではいろいろな人が見て買ってくれて良かったと思います。販売する経験もあまりなかったので難しかったですが、いい経験になりました。今回のバザーの売上金は、これからの活動資金になるので、売ることができて良かったです。

⑥ 10月27日(日)は、原池公園で中区区民フェスタ、11月10日(日)は、西原公園で南区ふれあいまつりでIYS活動報告パネル展を開催しました。パネル紹介だけでなく、バルーンアートで子どもと触れ合ったり、堺市人権教育推進協議会のブースと協力しエコバックづくり体験のお手伝いをしました。楽しみながら人権啓発活動ができたように思います。団員の中には、教員志望の学生もいるので、子どもとの関わりなどでも学びが多かったようです。

【第16期団員の感想から】

・バルーンアートを子どもの前でするのは初めてで緊張していましたが、なんとか形になってよかったです。バルーンアートができることで子どもの興味を引けたり、教育現場で使えたりするので、非常にいい経験ができました。

・南区まつりでも、トートバッグ作りは人気で、人が溢れていて付添の親御さんはパネルを見てくれたりしていました。待っている子どもには、バルーンアートをいっぱい作って渡せ、喜んでもらえました。私は、子どもと交流する機会が普段ないので、関わり方などが勉強になりました。南区まつりには、毎年行っていたのですが、今回は出展側で地域に貢献できたのではと嬉しく思いました。



現在、第16期団員は、個人で1年間の学びを振り返り、報告書をまとめています。年度末にはなりますが、会員の皆様には、活動報告集を送付させていただく予定にしていますので、お楽しみに！！

ヤングサンタ家庭訪問！！

IYSの社会貢献活動の一つにヤングサンタ事業があります。青年に社会参加の場を提供することを目的に、ただサンタクロースに扮するボランティアではなく、その企画や準備を各グループに分かれて自分たちの責任で訪問を行っていただきました。訪問家庭に関しても、堺市内各区の多数のご家庭からご応募をいただきまして、厳正なる抽選の結果、計12家庭にプレゼントと夢をお届けしました。また、IYSの団員に加えて、一般公募のボランティアスタッフにも参加いただき、ご活躍いただきました。グループでは、高校生と大学生、社会人が一緒になって、子どもたちの喜ぶ姿を想像して準備に取り掛かり、世代の違う青年の交流も行うことができました。ヤングサンタ本番当日に向けて、あらゆる方面から御協力・激励をいただいた皆さまに感謝申しあげるとともに、来年度もより一層の御支援を賜りますよう、お願いいたします。



家庭説明会で直接「お子さんに対する思い」を聞き取り、当日の出会いを想像しながら、バルーンアートやスノードーム作りなどのパフォーマンスを練習し、わずかな期間で準備を行いました。12月21日（土）本番当日は、午前中からメンバーが集まりだし、パフォーマンスの練習や打ち合わせなど最終確認を行い、夕方にいよいよ出発！無事故・大成功で帰ってくることができました。



2025年度の活動方針について

① 国際交流について

公益財団法人太平洋人材交流センター（PREX）と連携し、ベトナム人社員向け人材育成研修に参加するベトナムの方々と交流会を実施します。日本で活躍される若手社員が中心ですので、IYS 団員とも年齢が近く、お互いにチームビルディング研修を行いながら仲を深め、伝統文化の交流ができる研修も計画しています。自分のルーツに誇りを持ち、お互いの文化を認め合い、互いに力を合わせながら活動に取り組むことで、人権意識と国際感覚を身につけた青年を育成します。

また、沖縄スタディツアーの一環で、海外の方と交流できるプログラムやアメリカ軍の基地がある街を訪問し、海外の文化と日本の文化が混ざり合う今の沖縄を見学します。

② スタディツアーについて

9月に沖縄を訪問してのスタディツアーを企画しています。内容は、①でも書かせていただいた海外の方と交流できるプログラムと平和関連施設のフィールドワークも行います。2025年は戦後80年になります。平和をテーマとした事前研修をしっかりと行い、課題意識をもってスタディツアーに臨みたいと思います。

また、戦後の沖縄を見つめるという視点で、事前学習で大阪の大正区でリトル沖縄フィールドワークも行います。沖縄から大阪に渡ってきた当事者の方からお話を聞き、地域の沖縄文化に触れて、人権の大切さや共生社会について学びます。

③ 団員の募集について

IYS チラシや団員募集要項を高校・大学などの教育機関・人権協関係及びその他公共施設に配架していただき、インターユース堺の活動を知ってもらい、広く団員を募集します。また、過去の関係者やOB・OG、会員にも配付しますので、インターユース堺を紹介していただけると幸いです。

次年度は、募集要件を「堺市に在住・在勤・在学の高校生から35歳までの青年」とする予定で、広く団員を募りたいと考えています。

募集中!

次年度IYS第17期団員募集の**キャッチコピー**を募集します！！

キャッチコピーは募集要項の表紙上部に記載するもので、チラシを受けとるきっかけとなります。国際交流や人権研修をテーマとした活動をアピールするいい案はありませんか？

IYSメールアドレス（iys_sakai@yahoo.co.jp）までお送りください。たくさんの御応募お待ちしております。

【参考】2024年度 第16期団員募集キャッチコピー 『経験は宝だ！！』